



## 市民特派員のまちかどレポート ひかり子育てサポーター研修に参加して



▲実践研修の様子。親子のコミュニケーションの「伝わる状況づくり」について参加者同士で学びます。

### ひかり子育てサポーター

子育て家庭への声かけ、手助け、見守りなど、自分のできる範囲で子育てを応援したいという思いのある人を募集しています。

#### ■どなたでもお気軽にご参加ください

現在、市民の皆さんや市職員など計600人以上がサポーターとして活躍しています。どなたでもサポーターになれます。特別な資格は不要で、定期的な活動はありません。



#### ■子育てサポーター研修に参加してみませんか

研修は少人数でも開催します。また、出前講座も可能です。詳しくは、お問い合わせください。

☎子ども相談センターきゅっと

☎0833-74-5910

市では「おっばい都市宣言」のまちとして、子どもたちを心豊かに育ていけるよう、さまざまな支援が行われています。その一つに、まち全体で子育てを応援する「ひかり子育てサポーター(左下参照)」を養成する研修があります。

母親として、子どもとのコミュニケーションのとり方や、地域ぐるみでの子育て支援を学ぶため、1月15日(金)、29日(金)の2日間、あいぱーく光での研修に参加しました。

#### 【わかりやすいコミュニケーションを意識する】

この研修の中で最も印象的だったことは、常に「わかりやすいコミュニケーション」を意識するということ。どれだけ叱っても、どれだけほめても、メッセージが子どもに伝わっていなければ無意味です。「もうちょっと」「きちんと」などのあいまいな表現も避け、できるだけ具体的な表現を心がけたいと思います。

さらに、話す際は必ず目と目を合わせ、子どものすべての注意をこちらに向け、「伝える状況づくり」も大切です。大きな声で怒鳴っているときほど子どもから数m離れていたり、目と目は合っていない。1回目、2回目の注意が伝わっていなかっただけで、「何回言ったらわかるの!」と怒鳴ることは、子どもにとって理不尽で、伝える方法としては効果がありません。

#### 【子育ては「いいところだて(良いところ育て)】

子どもはそれぞれ個性があり、その個性をよい形で表現してあげることが大切です。日ごろのちょっとした「いいところ」をたくさん見つけ、認めてあげることの大切さを感じました。

市では、子育てに関する講座や勉強会が開催されています。子育ては三者三様で、すべてが講座で学んだとおりにはありませんが、子育ての引き出しは増えます。まずは実践し、そこからカスタマイズして自分なりの子育てができれば幸せです。



今回の取材は

たなか かよ  
田中 佳代 さん  
(浅江)